



多田さんのサニーレタス



多田さんは今年で71歳になる大ベテラン。1つ1つの仕事も丁寧で、畑もご自宅もとても綺麗です。「毎日、注文数に合わせて数を間違わないように気を使いながら出荷を続けるのは大変なんだよ」



きれいな黄緑色が映える多田さんのサニーレタス。冬にサラダで食べられる貴重な葉物野菜です。世間相場ではレタス類は高騰しているそうですが、おかげさまは相場に関係なく、いつも通りの出荷です。

★ベテランが育てる冬の貴重なサラダ野菜

11月も下旬に入り、日中も冷え込む日が増えてきましたね。今年は10月の長雨と台風により葉物に大きな被害が出ていますが、多田さんの12月後半出荷予定の小カブも、まだ双葉が残っている頃に大風で痛んでしまい、「どれだけ出せるかわからない」という状態です。

そんな中、サニーレタスは被害も出ず、とても順調に育っています。というのも、多田さんは平成に入ってからハウス栽培を本格化し、葉物を安定して出荷出来る環境と腕を磨いてきたからです。「やっぱり葉物はハウスだと安定していいよな。開け閉めさえしっかりやれば、露地に比べて育てやすいからな」

ただ、冬のハウスの葉物はアブラムシがつきます。「11月中旬頃までは出ないのだけど、何故かこれからの時期に出始めるんだよな。出始めてからでは遅いから、でんぷんノリみたいのを撒いて防ぐんだ」

また、暖かい日も多かった今までは、サニーレタスは縦方向に成長し葉っぱも黄緑色が多いのですが、寒さが本格化すると横方向にベタッと伸びていき、葉先の赤色も映えてくると言います。「やっぱり寒くなってきた方が甘みがのるな」とも。

長年の経験でコツコツ丁寧に育ててきた多田さんのサニーレタスは、ふわっとした食感と、ほのかな甘みが特徴でモリモリ食べれます。この時期、貴重な生野菜として食べられる多田さんのサニーレタス、ムシャムシャたっぷり味わって食下さいね。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎キャベツは12月9日(土)から出荷再開予定です。白菜は12月16日(土)から出荷開始予定です。

◎台風などの被害により、12月中旬以降の小カブは出荷量を制限させて頂くかもしれません。